

日韓国際交流 ピアノマスタークラス 2027



ピアノにかける情熱を世界に向けている二つの国が、このたび兵庫県三田市で一つになります。

日本と韓国、二つの国の教授と学生が集う、三日間の国際的なピアノマスタークラス。

マスタークラスの後には修了コンサート、教授コンサート、そして懇親会。

国境を越えた音楽の交流を、どうぞ皆様の音楽人生の一ページに加えてみてください。

会期

2027年1月8日(金)～10日(日)

開催地

兵庫県三田市

教授陣

ファン・ムニ

Prof. Hwang Moonhee

赤松林太郎

Prof. Akamatsu Rintaro

通訳

ソン・ファヨン

Song Hwayoung

共催 Japan Liszt Piano Academy、平瀬楽器

協力 Classic Korea

主管 株式会社PARADE

後援 ○○○○○

■ スケジュール

1月8日（金）	赤松林太郎教授によるマスタークラス（韓国人＆その他の外国人）
1月9日（土）	ファン・ムニ教授によるマスタークラス（日本人＆韓国人）
1月10日（日）	修了コンサート＆教授コンサート、懇親会

■ 会場

	マスタークラス 平瀬楽器 自遊空間ami		練習 平瀬楽器 三田センター		コンサート 三田市総合文化センター 郷の音ホール リハーサル室
--	-----------------------------------	---	-----------------------------	--	--

QRコードから各会場の地図（Googleマップ）を開けます。

■ 参加資格

- ・ 年齢制限なし
- ・ レッスンとコンサートに相応しいレベルで演奏できる楽曲を用意できること
- ・ 暗譜は望ましいですが、必須ではありません

■ 参加費用

40,000円（税込） 以下の内容がすべて含まれています。

マスタークラス受講	ファン・ムニ教授による45分レッスン×1回
マスタークラス聴講	二日間のマスタークラスの聴講は自由
通訳	レッスン時の韓国語⇄日本語のサポート
練習施設	レッスン前後に練習室の利用が可能（時間は要相談）
コンサート出演	修了コンサートへの出演（最大15分まで演奏可） リハーサルでは赤松林太郎教授が立ち会い・ワンポイントアドバイス
懇親会	コンサート終演後に交流を兼ねた食事会

■ お申込み



左のQRコードから申込フォームを開き、必要事項を記入してください。

締切 **2026年12月6日（日）**

■ お振込先

ゆうちょ銀行もしくは
郵便局で手続きする場合

記号・番号 **14380-88192911**
口座名義 **カ）パラード**

銀行等の金融機関から
ゆうちょ口座へ振り込む場合

銀行名 **ゆうちょ銀行**
店名 **四三八（ヨンサンハチ）店
（438）**
口座番号 **普通 8819291**
口座名義 **カ）パラード**

三井住友銀行

支店名 **鈴蘭台支店**
口座番号 **普通 5105908**
口座名義 **カ）パラード**



ファン・ムニ Prof. Hwang Moonhee

知性が音を磨き、感性が音楽をひらく。

叙情的なトーンと弾力に満ちた音色で旋律の美しさを引き出し、絶妙にコントロールされたテクニックと成熟した音楽的融合を見せた演奏で高い評価を得ているピアニストのファン・ムニは、イエウオン学校とソウル芸術高等学校を卒業後、渡米し、ミシガン州立大学（Michigan State University）で学士号（BM）を最優等（Summa Cum Laude）で取得し、ニューヨークのマンハッタン音楽院（Manhattan School of Music）で修士号（MM）およびプロフェッショナル・パフォーマンス課程（PS）を修了した後、ボストン大学（Boston University）で「クロード・ドビュッシーの『12の練習曲 第2集』に関する演奏分析」（A Performance Analysis of Claude Debussy's Douze Etudes, Livre II）という論文により、博士号（DMA）を取得した。

また、米国、英国、ドイツ、ポーランド、オーストリアで開催された世界的な音楽祭やマスタークラス、ピアノ教育会議に参加して演奏を行うなど、多様な音楽的経験を通じて成長を遂げた。

彼女は、イタリアのIBLA Grand Prize国際コンクールで入賞、ミシガン州MTNAコンクールで優勝、ニューヨーク国際ソロコンクールで第1位、アーティスト・インターナショナル・オーディションで特別賞を受賞し、ニューヨークのカーネギー・ワイル・ホール（2001年4月）でニューヨーク・デビューリサイタルを開催したほか、2018年7月には再びカーネギー・ワイル・ホールでリサイタルを成功裏に開催し、ニューヨークの聴衆と心を通わせるひとときを過ごした。ソリストとして韓国国内では、春川市立交響楽団（春川文化芸術会館）、パンアジア・フィルハーモニア（仁川総合文化芸術会館 大公演場）、ソウル・アカデミー・アンサンブル（芸術の殿堂 IBKホール）、ソウル交響楽団（芸術の殿堂コンサートホール）と共演したほか、海外ではブルガリアのソフィア・フィル、プレヴェン・フィル、チェコのヤナーチェク・フィル、ロシアの国立エルミタージュ管弦楽団、ポーランドのオポーレ・フィルなど、ヨーロッパ各地から招待を受け、共演の舞台に立ち、活発な演奏活動を展開した。特に、ハンガリーのフィデリオ（Fidelio）レコード社と契約し、ベートーヴェンの協奏曲第3番やショパン、ドビュッシーのソロ曲が収録されたアルバムを韓国、ハンガリー、米国でリリースし、アルバム発売記念リサイタル（芸術の殿堂リサイタルホール）も開催した。また、米国ニューヨーク・マンハッタンのマーキン・ホール、ヤマハ・ホール、WMPコンサートホールでの「Strad for Lunch」コンサートシリーズ、ニュージャージー州のスタインウェイ・ギャラリー、ボストンのドイツ文化センターおよびスタインウェイ・ホール、ペンシルベニア州のピーター・ホール、中国北京での「韓中文化交流の夕べ」などで招待演奏会を行い、知性と感性を兼ね備えた演奏家としての地位を確立した。さらに、2017年から始まった「音楽散歩」シリーズの一環として、毎年リサイタルを開催し、多彩なレパートリーで聴衆との交流を続けている。また、古楽に関心を持ち、チェンバロを学び、韓国チェンバロ最高級奏者資格を取得し、韓国バロック音楽祭でも演奏を行った。

室内楽奏者として、世界的なオペラオーケストラ「ドイツ・オペラ・ベルリン（Deutsche Oper Berlin）」のコンサートマスターを務めるヴァイオリニスト、トーマス・トマセフスキ、ピアニストのヴィンセント・デ・ブリス、弟であるヴァイオリニストのファン・スンビンとデュオ・リサイタルを数回共演し、トリオ・エステラ（Trio Estella）を結成して、ペリジ・ホールのランチコンサートやフラウム楽器博物館の土曜音楽会で数回の招待演奏会を行ったこともある。また、芸術の殿堂「サックフェスタ」のクラシック・バスカー公演、師弟が共演する「ハーモニー」、メノス・アンサンブルの「映画、クラシックに出会う」（KTチェンバーホール）、夏休みの青少年のための解説付きコンサート（麻浦アートセンター・アートホールMACK、永山アートホール）、障がい者および多文化家庭のための愛の分かち合いコンサート（国会議事堂憲政記念館大講堂）、ミシガン・ピアノ・カメラータの定期演奏会、ソウル歴史博物館の才能分かち合いコンサート、ファジョン博物館の年末コンサート、ソウル科学技術大学の月曜共感コンサートなど、様々な演奏の舞台で国内外のアーティストたちと共に、絶えず大衆とのコミュニケーションを図っている。

教育者として米国ペンシルベニア州のモラヴィアン大学に在職し、帰国後は安養（アニャン）大学の兼任教授、祥明（サンミョン）大学、嘉泉（カチョン）大学および同大学院、グローバル未来教育院の講師を歴任した。また、2024年に『時事トゥデイ』が主催した「新（シン）韓国人賞（教育部門）」を受賞し、現在は世宗（セジョン）大学融合芸術大学院音楽学科の教授として在職し、後進の育成に尽力している。

赤松林太郎 Prof. Akamatsu Rintaro

世界を渡り歩いた教授が、あなたの音と向き合う。

世界的音楽評論家ヨアヒム・カイザーに「聡明かつ才能がある」（ドイツ国営第2テレビ）と評された2000年のクララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位受賞がきっかけとなり、本格的にピアニストとして活動を始める。

2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曽根実氏や芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時に自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲第21番を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得（室内楽は全審査員満点による）、国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。ピアノを元吉明子、熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に師事。



国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、韓国、台湾、ベトナム、コロンビアを公演で回る一方で、ヨーロッパやアジア各国で音楽祭や国際コンクール、マスタークラスに多数招かれている。これまでにマルク・アンドレーエ、デアーク・アンドラーシュ、ミロスワフ・ブワシュチック、タラス・デムチシン、クリスティアン・シュルツ、新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史などの指揮のもと、デュッセルドルフ交響楽団、ドナウ交響楽団、シレジア・フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、ロイヤルメトロポリタンオーケストラ、ロイヤルチェンバーオーケストラ等と共演。

キングインターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアソラの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》《ブルクミュラー25&18の練習曲》《わたしを泣かせてください》《クララに捧ぐ》《シンフォニア共に響かせるもの》をリリースし、その多くがレコード芸術の特選盤・準特選盤、推薦盤に選ばれる。新聞や雑誌への執筆も多く、著書に『赤松林太郎 虹のように』（道と書院）、『3年後、確実にクラシック・ピアノが弾ける練習法ショパン編』『3年後、確実にクラシック・ピアノが弾ける練習法ベートーヴェン編』（リットーミュージック）、『徹底解説バッハ〈インヴェンション&シンフォニア〉弾き方教え方』（音楽之友社）等がある。

現職は大阪音楽大学・大学院教授、洗足学園音楽大学客員教授、宇都宮短期大学客員教授、平成音楽大学客員教授、Budapest International Piano Masterclass & Festival芸術監督、カシオ計算機株式会社アンバサダー。

毎年夏はイタリアのTalent Music Summer Courses、ポーランドのEuro Arts Academyでマスタークラスを担当。2025年はVietnam International Piano Competition & Festivalにてコンサート・マスタークラス・コンクールの審査を務め、日韓国交正常化60周年記念イベントとして6月にソウル教育大学、9月に世宗（セジョン）大学でマスタークラスに招かれた。2026年もClassic Koreaにソウルでのマスタークラス（韓国・ソウル）、Crescendo International Festival & Competition（ベトナム・ハノイ）にも招聘される。2027年2月ソウル芸術の殿堂リサイタルホール、3月ブダペスト（イタリア文化会館他）、7月ハノイでのリサイタルが決まっている。

オフィシャルサイト <http://rintaro-akamatsu.com/>

通訳 ソン・ファヨン（宋和映） Song Hwayoung

京都市立芸術大学音楽学部首席卒。音楽学部賞、京都音楽協会賞受賞。同大学院音楽修士課程修了後パリ・エコールノルマル音楽院最高演奏課程修了。各国の著名ピアニストに薫陶を受け、欧州各地にて研鑽。国内外コンクール受賞多数。サル・コルトー（パリ）でのリサイタル、Bösendorfer社新作発表会や音楽講座、大学講義演奏、主催公演出演、B. ポーマン氏をはじめ著名な演奏家と共演を重ねる他、姉妹ピアノデュオでNHK大阪ホール公開収録（FM放送）、日中韓親善トリオ「に・ちゅ・かん」でCD制作の他数多くの演奏会に出演。ヤハン木管5重奏団定期演奏会ピアニストとしてガーシュウィンの《ラプソディ・イン・ブルー》を共演。新曲初演、国際現代音楽祭や現代音楽グループ定期公演に出演、京都市芸大作曲／指揮クラス共同研究作品を芸大オーケストラと共演。京都フランス音楽アカデミー公式伴奏者。日本クラシック音楽コンクール全国大会審査員。四天王寺大学、京都市立芸術大学非常勤講師を歴任。大阪府立夕陽丘高等学校、大阪総合保育大学、常磐会学園大学ピアノ非常勤講師、Songピアノ教室主宰。